



Rin Rin No.134

りんりん通信 2023年11月発行

りんりんの会
乳がん体験者の会

*凍(りん)として:自分のために! *輪(りん)として:仲間のために! *鈴(りん)として:社会のために!

第15回 りんりん研修会が終了しました♪ ～上映会(「がんになる前に知っておくこと」)&パネルディスカッション～

テーマ:「がん」を恐れるのではなく「知る」ことから始めましょう!
～がんのこと・自分のこと・治療のこと・仕事のこと・これからの人生のこと～

- 開催日時: 令和5年9月30日 13:20～16:00
 - 開催場所: 大崎市地域交流センター「あすも」
 - 13:25～15:15 上映会「がんになる前に知っておくこと」
... 医師と看護師・経験者との15の対話(ドキュメンタリー)
 - 15:25～16:00 パネルディスカッション
* パネラー: Dr. 吉田龍一先生・Ns: 岩井乳がん看護認定看護師・体験者: 高橋(りんりんの会代表)
- 【パネルディスカッション】

<初めに> Dr. 「りんりんの会開設に至るまでの経過についての紹介」
Ns 「患者さんとうかがわっているのか…お話します」
体験者: 「2004年からスタートし、ここまで継続していることに驚き。初心で運営を続けています」

<告知について>…その場や、前後のフォローについて
Dr. 「がんになったけど、治る可能性が高く、治ると信じて治療しましょう」
Ns 「告知後の、気になることや反応は、患者によっていろいろ」「真っ白な人→別室で面談、気持ちが落ち着くのを待つ。患者の気持ちを受け止める。『安全におうちに帰ってくださいね』と必ずお声がけ「検査説明…日程‘メモ’をしてわかりやすいように」

<術式について>…迷って、困って、わからない患者への対応について
Dr. 「がん患者は‘孤独’、ネガティブになりがちだが、『助けてくれる人はいる』『状況を見て、誘導』『その人の人生観によって』『Shared decision making』～求めるものを最大限達成できる選択を」
Ns 「術式を考える心理状態にあるか、医師の説明を誤解なく理解した上で術式を考えることができているかを確認している」「選択肢がある場合: メリット・デメリットを共に考える。自分で選んだことに間違いは絶対はない。悩むとは思いますが時間をかけてたくさん悩むその時間も大切。

<就労支援について>
Dr. 「乳がんり患率は女性トップだが治療しながら仕事は可能! 職場の理解は必要 やめないで! 休む!」

<子供さんのサポートについて>
Ns 「小さい子供さんへの対応…子供も、何かおかしいことに気づいている。年齢や性格に合わせて、簡単な言葉で伝える。」「学校との連携→変化があれば心理士さんへ」

<多職種連携のコンセプトは>
Dr. 「個別に対応、医者・看護師がコーディネート」

※ パネルディスカッション時の質疑応答とアンケート回収結果については、「りんりん研修会実施報告書」に記載

～りりん通信に寄せて No.58 ～

カタリン・カリコ

大崎市民病院 乳腺外科科長 吉田龍一

カタリンカリコ？片栗粉？何それと思われた方も多いのではないのでしょうか。今年のノーベル生理学医学賞を受賞した方で、ドリュー・ワイズマン氏と共に受賞しました。以前、このコラムでワクチンについて書きましたが、新型コロナが蔓延してから1年後にワクチンが作られたことは、従来これまでワクチンが完成するまで数年は要していたのに比し画期的で驚きました。これはメッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンという、これまでのワクチンとは全く異なる方法で作られたのですが、その技術を研究開発したのがカタリン・カリコさんです。当時このことを知った私は、このひとつの研究で、もしかしたら何千万、何億人という人がコロナの感染を免れるかも知れないことから、ノーベル賞に値すると感じました。予言したわけではありませんが、今年ノーベル生理学医学賞受賞のニュースを聞いたとき、やっぱり！！と思いました。

カリコさんは1955年ハンガリーで生まれましたが、紆余曲折ありアメリカ、ドイツと渡り研究が開花しました。彼女に関してはジャーナリストの増田コリヤさんの著書に詳しいので、その著書から紹介します。

ちなみに、ハンガリーは、私も10数年前に旅行したことがあります。元共産圏で中央ヨーロッパにあり、有名なドナウ川が流れています（美しき青きドナウ？濁っていて決してきれいな川ではありませんでしたが）。海が無く東側はウクライナと接しています。首都はブダペスト。美しい中世の街並みが世界遺産となっています。また、意外なことにブダペスト市内にはいくつか温泉があり、多くの市民が訪れています。ただ、全裸はダメで水着着用です。

カリコさんは幼少の頃から好奇心旺盛で、中学生の頃には生物学に目覚め、高校生の時に研究の道に進むことを決め、大学へ進学し研究者の道を歩み始めました。カリコさんはmRNAの研究をこのときから始めました。約50年前の事です。

先祖代々伝わる遺伝情報はDNAとして受け継がれますが、このDNAの情報を運ぶ働きがmRNAです。mRNAにより設計図となるDNA情報は細胞核の外の細胞質にあるリボソームというタンパク合成装置に運ばれ、その情報からアミノ酸が作られ最終的にタンパク質が作られます。人の身体はタンパク質でできています。このシステムにより親子で顔が似ていたりします。遺伝というのはすごいメカニズムだと思いませんか？

しかし、カリコさんの研究は順風満帆ではなく1980年代にはハンガリーの経済悪化に伴い研究費も無くなったため、カリコさんはやむなく渡米しました。このときカリコさんは30歳。当時はまだ冷戦のさなかでした。今と違って大変なことだったと思います。エンジニアの夫と娘と共にアメリカに渡り、夫が職を探し肉体労働をしながら家族を支えてくれたおかげで、カリコさんは研究に没頭することができました。いい旦那だと思いませんか？

しかし、カリコさんの研究は相変わらずいい結果が出せませんでした。ここでくじけてしまってもおかしくありません。私も一時期研究に従事したことがありますが、その時の上司は結果は出るものではない、出すものだとおっしゃっていました。カリコさんもがんばればいい結果が出るに違いないと思い研究を続けたのだと思います。そして、偶然にもワイズマン氏と運命的な出会いがあり、二人三脚での研究が始まりました。「mRNAに指令を与え細胞に組み込んで思い通りのタンパク質を合成する」研究でしたが、mRNAを組み込むどうしても炎症を起こしてしまいました。つまり、人工的に作ったmRNAは体内ではばい菌と同様の異物とみなされ免疫細胞が攻撃し炎症を起こすのです。ですから、mRNAを使って合成した薬剤をヒトには使うにはこの炎症を惹起させないことが必要でした。詳細は省きますが、とうとうこの炎症を抑える方法を探り出し2005年に発表しましたが、まだ評価は低く待遇は改善されませんでした。結局2013年アメリカからドイツのビオンテック社に移りました。

この会社は mRNA を癌治療に応用しようとしていて、カリコさんの研究を元に実際に薬を作ろうとしていました。そして、実際にインフルエンザやジカウイルスの mRNA ワクチンを開発していました。武漢で新型コロナが発見されたとき、その技術でビオンテック社はいち早く mRNA ワクチンを作り、蔓延して 1 年後にはワクチンがヒトに打たれる状況となったわけですが、これまでには考えられなかったスピードです。自分を信じてひたむきに研究したからこそ得られた業績であり、結果的に人類に多大な貢献をすることになったのです。

翻って、我が国の状況ですが、先だってこのコラムに記したように我が国はとうの昔にワクチンを作る能力を失い、安倍・菅内閣ではワクチン確保に奔走・迷走しました。新聞記事によれば、研究開発費は中国などは大幅に増額している中で日本は横ばいで、国立大学では人件費や実験機器に充てる交付金が減額され支援が不十分だそうです。また、短期で成果が求められるため、息の長い研究では資金を得られにくく、また、研究者のポストが期限付きで雇用不安があるなど、十分に研究に没頭できる環境にはないといわれ、海外への頭脳流出が止まらない状況です。

しかしながら、そんな状況の中でも、少なくともカリコさんのような自分を信じる力やハングリー精神とでも言いましょうか、そんな胆力を子供のうちから身につけさせることが大切なのかも知れません。時間はかかりますが基礎研究は大切です。ワクチンが作れない日本では、長い目で研究者を支援すること、それを地道にできる環境・支援が必要です。100 人支援して一人結果が出せればいいという度量の広さが欲しいところです。

* 今後の活動予定 *



★開催場所：大崎市図書館 2 階研修室 ★参加費不要 ★事前予約は必要ありません。

※ 初めて参加希望される方、参加を迷われている方、事前に情報が欲しい方は、ご遠慮なくお電話でお問い合わせください。スタッフが対応いたします。

● 11 月 18 日(土) 「こころんの集い」 10:00~11:30

※ CoCoRin (こころん) は『40 代頃までの若年層の患者様対象の会』です。

※ 同年代の方々と一緒に話したり聞いたり…。気持ちが少しだけ軽くなる場所です。

● 12 月 16 日(土) りんりん&こころん Xmas 会 10:00~11:30

※ 情報交換会とクリスマス会を開催します。

※ プレゼント交換会をしますので、プレゼント用品 1 個 (500 円位のもの・手作品も可) 持参ください。

【確認事項】

* 状況や都合により日程・場所が変更する場合があります。参加ご希望される方は事前に大崎市民病院 HP・がんサロンなどで確認、またはりんりん携帯にご連絡ください。

* 当面は、おしゃべり会・相談会、ご希望があればパッド講習会も開催いたします。

※ パッド作り講習会に参加希望の方は材料キット作製準備の都合上、開催日の 1 週間前までにご連絡をお願い致します。

連絡(お問い合わせ)先

りんりん携帯 : 090-6259-9205/土日対応可  :strinrin320@gmail.com

* りんりんの会は、大崎市民病院地域医療連携室のサポートを頂いて活動しています *